

各位

2017年2月24日

アプリックスIPホールディングス株式会社

(コード番号:3727 東証マザーズ)

専用サーバの構築や維持費が不要スマホの PUSH 通知で動作する ANCS プラットフォーム「Aplix ConstantBridge IoT Platform」の提供開始

アプリックスIPホールディングス株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役:長橋 賢吾、以下「アプリックス」)は、専用サーバの構築や維持費が不要な IoT(Internet of Things)プラットフォームサービス「Aplix ConstantBridge IoT Platform」の提供を発表いたします。

背景

多くの IoT 製品では、通信内容や通信先の管理のために、専用サーバやクラウドシステムといった大規模なシステムと、それらの継続的な維持・管理が必要となり、そのためコストが問題となっています。とくに、メーカーにおいて、売り切りでIoT化製品を販売したい場合、こうしたサーバ・クラウドに関するコストをかけることは現実的ではありません。

当社のソリューション

当社では、BLE モジュール・スマホアプリ・クラウドを一体の IoT ソリューションとして提供し、多くの商用化実績があります。とくに、サーバ・クラウドに関するコストをかけずに、どうIoT製品を提供するかについて検討を重ね、スマホの PUSH通知で動作するアプリックス ANCS プラットフォーム

「Aplix ConstantBridge IoT Platform」を開発しました。具体的には、アップル社の iPhone/iPad については、同社の提供する ANCS(Apple Notification Center Service)を活用、Android については、当社独自開発の PUSHフレームワークを用いて、上図のような通知元アプリで PUSH通知するコンテンツを設定、そして、IoT製品において動作条件を指定することで、専用のサーバを立てることなく、コンテンツに応じた PUSH通知ならびに PUSH 通知による機器の制御を実現することができます。くわえて、「Aplix ConstantBridge IoT Platform」の標準プラットフォームの提供に加えて、当社ではサービスにあわせたスマホアプリの作成、各種のコンテンツ取得代行といったサポートサービスも提供します。

差別化ポイント

同プラットフォームの差別化ポイントとして、1. コンテンツ提供者からのコンテンツを取得するインターフェイス、ならびに、2. IoT化機器とスマートフォンをサーバレスでペアリング可能、という点であり、「Aplix ConstantBridge IoT Platform」がコンテンツとIoT機器との橋渡し役となります。



採用製品の発売について

当社では、同プラットフォームならびに当社アプリ、BLEモジュールを搭載した最初の製品が株式会社ブラザーエンタープライズ製 IoT LED ライト「MAmoria it (マモリアアイティー)」であり、平成 29 年 2 月 24 日に発売を開始しました。

紹介ホームページ

「Aplix ConstantBridge IoT Platform」の詳細については、以下をご覧ください。

<http://www.aplix.co.jp/solution/constant-bridge/>

以 上

■アプリックスIPホールディングス株式会社について

アプリックスIPホールディングスの使命は「ソフトウェアの力で世の中のあらゆる人々に幸せをもたらすこと」です。携帯電話でのJava利用という新しいフロンティアを切り開いた「JBlend」に続き、開拓中の分野が、IoT(Internet of Things)です。当社ではIoTモジュール(ビーコン)、スマホアプリ、クラウドサービス等のIoTソリューションを一貫して提供することで、家電製品等のIoT化を推し進め、「モノからの通知によって人々の生活を豊かにする」というコンセプトの実現を目指しております。

アプリックスIPホールディングスのwebsite(投資家情報等):<http://www.aplix-ip.com/>

アプリックスのwebsite(テクノロジー事業等):<http://www.aplix.co.jp/>

■お問い合わせ先:

お問い合わせのページ:<http://www.aplix-ip.com/contact/>

※ 記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。